

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月20日	作成者名	後藤 英明	評価者名	安部 孝良
-----	------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	07 人が集い心ふれあうまち	中心となる課	市民生活部・協働推進課
分野	01 協働	関係課	
施策	72 地域コミュニティの活性化		
施策の目的	より住みやすいまちとするため、地域の様々な課題について、市民自らが共に考え、共に解決していく社会の実現を目指します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	町会・自治会活動支援事業
取り組み②	市民交流事業
取り組み③	地域コミュニティ推進事業
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
地区コミュニティ協議会数	コミュニティ協議会の設立数	団体	2	1	1	1	1		
戸田ふるさと祭り来場者数	戸田ふるさと祭りが行われる2日間の来場者数	人	75,000	70,000	40,000	30,000	40,000		
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	現在、市内の地域コミュニティについては、既存の町会・自治会を中心として形成されているが、町会・自治会において、加入率の減少や、担い手の高齢化などの課題があり、地域コミュニティが活性化しにくい状況である。また、町会・自治会の他にも様々なコミュニティ関連組織、市民活動団体等が存在し、地域において活動をしているが、相互の連絡体系が明確に整備されていないという課題があり、広域の地域コミュニティ組織の形成にまで至っていない。	対応策	地域コミュニティの活性化には、まずは中心となっている町会・自治会の活動の活発化へ向けた支援として、町会連合会を中心に、加入促進や負担軽減に取り組んでいく。併せて、戸田ふるさと祭りや市民憲章など、地域への愛着を促すための事業を実施していく。町会・自治会を含めた地域で活動している様々な組織等が、相互に連携・協力することにより、「地域コミュニティ推進計画」に基づく、地区コミュニティ協議会の設置を促すことができるため、継続的に働きかけていく。コミュニティ施設は地域コミュニティの意見を聞きながら、コミュニティ活動がより活性化されるように運営を工夫していく。
----	---	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	ふるさと祭りは、会場を変更する他、より魅力ある祭りとなるよう実行委員会と連携し企画・運営を行う。町会・自治会への支援は、活動が活発化するように、必要な支援を引き続き行う。地区コミュニティ協議会は、それぞれ地区の状況に合った支援を行っていく。施設の管理運営は、地区コミュニティと連携し、より効果・効率的となるように働きかける。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	地域コミュニティがより活性化するためには、ふるさと祭りやコミュニティ施設の管理運営、町会活動の支援など、随時見直しを図りながら実施していく事業や、町会加入の促進やコミュニティ協議会設立などの状況を把握してタイミングを逃さず取り組む必要がある課題があり、人員・予算とも現状を維持したい。

(評価者コメント)

地域コミュニティの活性化には、地区コミュニティ協議会の設置が重要であり、その組織の中心となりうる町会・自治会の活動を活発化させる支援に取り組むことが最重要である。地域で活動している市民活動団体等との連携・協力を推進していく中で、活発な町会活動を行うことで、市民の地元地域への愛着意識を高めていき、地域における意識の高まりを前提に、地区コミュニティ協議会の組織化に向けた支援について工夫を行い、引き続き、多くの市民が積極的に地域にかかわる活気ある地域づくりに取り組んでいく。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月20日	作成者名	後藤 英明	評価者名	安部 孝良
-----	------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果							★事務事業の方向性			R 2 予 算 額	事業費 うち 一般財源				
		事業コード	事業内容	事業区分	H30決算額		評価結果					事業の方向性	実施計画候補			施策内優先度	コメント		
					R1 予算額	R2 計画額	事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法							受益・負担の公平性	
																			事業費
事業費	うち一般財源	人件費																	
01 市民交流事業 (協働推進課)																			
		市民交流事業			9,475												0		
		01	02	01	13	01	01	任意	1	○	B	B	B	B	1	○	A	より魅力ある祭りとなるよう開催内容や実施体制を検討する必要がある。	0
		戸田ふるさと祭りは、とだわらび青年会議所が中心となり			14,316													0	
					7,301														
02 協働推進事業 (協働推進課)																			
		町会・自治会活動支援事業			41,796													0	
		01	02	01	13	02	02	任意	1	○	B	B	B	B	1	○	A	地域コミュニティの中心となっている町会・自治会の活動の活発化へ向けた支援が重要となる。	0
		町会・自治会活動が円滑に行えるための町会会館等整備や			60,543													0	
					60,531														
		地域コミュニティ推進事業			5,017													0	
		01	02	01	13	02	03	任意	1	○	B	B	B	B	1	○	A	地域コミュニティ活動の充実・強化につながるため、推進していく。	0
		行政と市民との協働によって策定された「地域コミュニテ			7,100													0	
					100														
					1,910														
01 市民憲章推進事業 (協働推進課)																			
		市民憲章推進事業			1,438													0	
		01	02	01	15	01	01	任意	1		B	B	B	B	1		C	継続的な啓発活動が必要だが、実施方法については、随時見直ししていく必要がある。	0
		戸田市民憲章の主文として掲げている5項目の日常にお			1,398													0	
					2,183														
01 笹目コミュニティセンター管理運営費 (協働推進課)																			
		笹目コミュニティセンター管理運営費			129,461													0	
		01	02	01	19	01	01	任意	1		A	A	B	B	1		B		0
		指定管理者である笹目コミュニティ協議会による、センタ			82,423														
					61,553														
					61,507														
					2,047														
02 新曾南多世代交流館管理運営事業 (協働推進課)																			
		新曾南多世代交流館管理運営事業			52,521													0	
		01	02	01	19	02	01	任意	1		B	B	B	B	1		B		0
		指定管理者制度の導入により、より多くの市民に施設を			51,980														
					68,759														
					67,275														
					2,388														
計 (千円)					事業費	239,708												0	
					うち一般財源	234,697												0	

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
7 令和2年度で終了 8 令和元年度で終了 9 平成30年度で終了